

# 世界最高水準の教育研究拠点形成

グローバルCOEに採択！



## 格差センシティブな人間発達科学の創成

大学院人間発達科学専攻から申請していたグローバルCOEプログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」がこのほど採択されました。

人間発達科学専攻は、21世紀COEプログラムに引き続き、今後5年間、「社会的公正に敏感な」女性研究者を育成し、国際的にも通用する教育研究拠点を構築するために、さまざまな教育プログラムや研究プロジェクトを遂行していきます。

教育プログラムとしては、リサーチ・アシスタントの雇用、院生・若手研究者を対象とした研究プログラムの公募、海外学会や調査への派遣、英語論文作成・発表支援、各種セミナー・シンポジウムの開催、実践現場との協働研究プログラムなどを計画しています。

グローバルCOEプログラム  
大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るために、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力のある大学づくりを推進することを目的としています。  
平成19年度は、「生命科学」、「化学、材料科学」、「情報、電気、電子」、「人文科学」、「学際、複合、新領域」の5分野について合計281件の申請の中から、審査を経て63件が採択されました。「格差センシティブな人間発達科学の創成」は、人文科学分野で採択されたものです。



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

**学内保育施設**  
いずみナーサリー  
育児奨学金



**育児休業制度**  
早期導入

**女性研究者に対する子育て期の支援策**  
研究クオリティの維持  
9時～5時体制実施中



**非常勤講師**  
育児中の教員支援

**女性教員**  
積極的採用

**研究・人材育成支援**  
アカデミック・アシスタント  
リサーチ・アシスタント

## 共生社会への還流



世界最高水準の教育研究拠点形成

グローバルCOEに採択！